

西尾張を創った水の道・宮田用水を歩く

尾張西部地域は、木曾川が造った肥沃な大地の恵みにより、太古から農業・政治・文化の中心として発達してきました。今から400年前の慶長13年（1608年）、徳川家康の命令で築かれた「お囲い堤」により、木曾川の支派川が締め切られ、般若杵、大野杵が建設され、宮田用水が始まりました。400年もの間豊かな木曾川の水を田に送り続け、尾張藩、愛知県の発展を支え続けてきたのです。近年では、パイプライン化により用排水が分離され、都市化の進展に伴う雨水排水の受け入れや、堤防や水路上部を緑道として整備し、地域住民の安全や豊かな生活に密着した共通の財産として重要な役割を担ってきています。

「宮田用水を歩く」は水の道を歩くことで、木曾川の水の恵みにより生かされてきたふるさとの自然や地誌を学ぶウォークです。

★このウォークは、スタート地とゴール地点が違います。公共交通でご参加ください。

★5年間、健康で宮田用水を歩きましょう。完全踏破の人に記念品を差し上げます。

参加無料 予約不要 12 km

宮田用水を歩く

10月28日

(第4日曜日)

宮田用水中央管理所から名鉄本線・島氏永駅まで

大江幹線水路を歩こう1

開催日：2012年10月28日（日）午前9時集合（雨天決行、警報は中止）

集合場所：宮田用水中央管理所

解散場所：名鉄本線島氏永駅（お弁当をお持ちください）

コース：

宮田用水中央管理所、見学説明—浅井山公園—大乘公園（昼食）—丹陽町多加木—宮卸売市場—名鉄本線島氏永駅

主催：一宮歩こう会宮田用水を歩く実行委員会

後援：一宮市、宮田用水土地改良区

協力＝尾張一宮観光文化検定協会、衝かど案内人

問合せ：小澤信夫 0586-87-0091（平日9-17）

スタート場所のご案内



ゴール場所のご案内

